

福島県農業総合センター

福島県農業総合センターは、農業関係の試験研究機関を再編統合した技術開発機能を核に、安全・安心な農業を推進する機能、農業教育機能を兼ね備えた本県農業振興の新たな拠点です。

試験研究体制を強化し、農業者に対する技術支援を行うほか、開放施設（交流棟、展示農園等）を活用して消費者や子ども達へ農業の魅力や重要性を伝えていきます。

<重点研究テーマ>

1. 東日本大震災及び原子力災害からの復興
2. 安全・安心な県産農林水産物の安定供給と生産者の所得の向上
3. 競争力と個性ある県産農林水産物のブランドの確立
4. 自然・環境と共生する農林水産業の推進
5. 農林水産物や地域資源を活用した地域産業の6次化の推進

福島県農業総合センター ホームページ <http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/>



公益財団法人 北九州生活科学センター

北九州生活科学センターは公益財団として、保健衛生および環境に関する検査、調査、研究、啓発および相談を行うことにより、公衆衛生の向上と生活衛生の改善に寄与することを基本理念とし、地域の人から真に必要なとされ、心から信頼・感謝されるセンターを目指します。

(公財) 北九州生活科学センター ホームページ <http://www.klsc.or.jp/>

<業務内容>

- ・食品検査（輸入食品検査、栄養成分、残留農薬等）
- ・飲料水検査（水道水、簡易専用水道、クリプトスポリジウム等）
- ・微生物検査（食品及び水質細菌、食中毒菌、検便等）
- ・環境検査（水質、土壌、排ガス、温泉成分、作業環境等）
- ・ダイオキシン類検査（水質、土壌、大気、廃棄物等）
- ・放射性物質検査



平成 25 年度より福島県農業総合センターと共同研究を行っています

<平成 25 年度 共同研究課題および成果>

1. 牛ふん堆肥由来放射性セシウムの玄米への吸収

この研究成果が堆肥広域流通対策として福島県内約 8 万戸の農家に配布されました。

<平成 26 年度 共同研究課題>

1. 穀類および地域特産作物における放射性セシウム吸収の経年変化確認
2. ゼオライトにおける放射性セシウム吸収抑制効果の持続性確認